

# くいはまみんなの公園 代替公園

# ワークショップニュース

日時：平成31年2月6日（水）  
 時間：18：30～20：30  
 会場：久里浜コミュニティーセンター第1会議室  
 参加者：ワークショップメンバー14名、見学者4名

第2号

## ■第2回ワークショップを開催しました。

第1回のワークショップでは、代替公園計画への反映を目的に、現在のくいはまみんなの公園について、良い点・改善したい点・その他の意見を整理しました。現在の公園の課題などが見えてきました。  
 そして第2回ワークショップでは、代替公園の現地の状況を踏まえて、「どんな公園にしたいか」整備イメージを班ごとに話し合って、全体に発表しました。その結果、共通のイメージや、異なっている意見が見えてきました。



## ■ワークショップのスケジュール

第1回 ワークショップ	1月17日（木） 18：30～20：30	今の公園を確認しよう！
第2回 ワークショップ	2月6日（水） 18：30～20：30	みんなのイメージを形にしよう！
第3回 ワークショップ	2月22日（金） 18：30～20：30	みんなのイメージをひとつにまとめよう！
第4回 ワークショップ	3月11日（月） 18：30～20：30	みんなのイメージを確認しよう！

一般の方もワークショップの見学は可能です。

## ■赤班の検討結果



ゾーニング図（事務局にて整理）



テーマ：自然とふれあえる公園  
 ゾーン：原っぱ、樹林・土遊び、電車見学、駐車場

- 動線
  - 来園者は主に駅側から来ると考えられる。園路は、散歩利用を考慮すると、敷地の広い部分は行き帰りが異なるぐるっと回るルートにして、幅が狭い部分は1つのルートとする。
  - 駐車場は北側の先端部分。
- 広場
  - 幅が広い部分は、原っぱとする。
  - 電車が見える場所として、あづまやや築山を整備
  - 隣接する民家の日照や見晴らしを考慮して、そこにはあまり木を植えず、広い部分の民家が無い部分は、樹林や子供の土いじりができ場所とする。
  - ピオトープや畑は欲しいが、位置は未決定
- 施設
  - トイレは民家から離し、来る人が多い駅側に配置。
  - 雨天時利用できる屋内遊び施設は、必要という意見、公園の使い方が限定されるので必要ないという意見がでた。
  - ゲートボール場は積極的に欲しいという意見は無かった。
  - 水道設備は必要。
  - 遊具は、必要という意見と必要ないという意見が出た。
- 植栽
  - 既存の樹木は残す
  - 大きな木、高い木、松の木、花の咲く樹林、木登り、どんぐり、ツリーハウス

## ■青班の検討結果



ゾーニング図（事務局にて整理）



テーマ：もっと！みんなの公園へ  
 今の公園は、利用者が限られているので、立地を活かし、工夫を重ねて、多世代が交流できる場所にしよう  
 ゾーン：原っぱ、こどもの遊び場、ゲートボール場、樹林地、田んぼ・畑・花、土遊び、駐車場

- 動線
  - 園路は、駅からのアクセスと北側市道からのアクセスを結ぶ。
  - 北側端部には駐車場。一般通勤者の利用への対策として、台数を少なくするか、有料駐車場に。
- 広場
  - 駅側から左右に子どもやゲートボールなどの遊びのスペース、公園全体や電車も見える築山のある原っぱとする。
  - サクラまわりは広場にして電車も眺められるようにする。
  - 土いじり、水遊びなど、子どもが裸足で駆け回れるような、自然な原っぱのある、あまり人工的でない公園にしたい。
  - 子どもは樹木や遊具など色んなものがある場所、お年寄りも開けた広場を求める傾向があり、何とか工夫して、棲み分けしながら多世代が利用できる公園にしていく。
- 施設
  - 休憩できるベンチを全体的に配置（非常時利用のかまどベンチも）、日除けや雨除け用のパーゴラ・あずまやも必要
  - 屋内遊び施設は、子どもの遊び場の近くで、トイレと一体とし、建物は入口側に集める。
- 植栽
  - 隣接する民地に配慮して、住宅沿いは低い緑にする。
  - 線路側はボール遊び可能な広場で、西日対策で背の高い木（枝振りの面白い、登れるようなデゴやタブノキ等）を植栽、フェンスにつる性の緑を這わせてもよい。
  - 奥の線路寄りには、畑や一坪田んぼ、花や植栽で利用促進

## ■緑班の検討結果



参加者持参資料（抜粋）

ゾーニング図（事務局にて整理）



テーマ：自然・子育て・遊び  
 ゾーン：原っぱ、ピオトープ、屋内遊び（電車）

- 動線
  - 園路は、駅からのアクセスと北側市道からのアクセスを結ぶ。駅側から、築山のある原っぱを抜け、ピオトープを通過して、北側市道に抜けるルートとする。
  - 園路舗装には足跡をデザインすると、子供が喜ぶ。
  - 北側端部には駐車場。
  - 駅側入口には外の駐車場があるため、公園利用者と車が交差しないことが重要、公園の顔としてきちんとした舗装。
- 広場
  - 駅側の広い場所は原っぱ、幼児用の滑り台やブランコ、アスレチックがあったら良い（花の国に、ゴジラの滑り台があるので、ミニラの滑り台もあれば面白い）。
  - 奥側の低くなっている部分は、少し掘って池や沼にしてピオトープ、現くいはまみんなの公園の池の生き物を移せたら良い。
- 施設
  - 日陰のパチンコ店の裏は、ゲートボール場にする。
  - 公園東側の民地付近に、屋内遊び施設や水遊び場。
  - JRの駅が近いので、電車を置くこと楽しい。車両を持ってこることが出来なかった場合は、屋内遊び施設を作る。
  - 屋内遊び施設のトイレにはベビーカー用のトイレや、障がい者の方が着替えられるような場所があれば良い。
  - 屋内遊び施設に、保護者の多様な働き方に対応できるようなインフォメーション機能を持たせることが出来たら良い。
  - 子育て等のインフォメーション機能は市全域での検討も必要（どんなイベントがあるか、どこに子供を預けられるか等）
- 植栽
  - 隣接民家に声が響かないようバッファゾーンの樹林地が必要

## ■とりまとめ

■共通意見  
 3つの班の発表から、計画のキーワードを整理しました。以下は、共通の意見です。公園整備の骨格となる事項は、共通していることがわかりました。

●テーマ

自然	遊び	多様な利用
----	----	-------

●動線

駅側からのアクセス 北側からのアクセス	それを結ぶ 園路	北側端部に 駐車場
------------------------	-------------	--------------

●広場

原っぱ	築山	電車を見る	土いじり
-----	----	-------	------

●植栽

既存の木を 活かす	木を植える	隣接民家との 関わり	ピオトープ 田んぼ・畑
--------------	-------	---------------	----------------

■調整が必要な意見  
 以下は、異なっていた意見です。導入する施設については、まだまだ検討が必要です。  
 次回、第3回ワークショップでは、施設について話し合って、みんなのイメージをまとめましょう。

普段遊びのために遊具を設けるか？ 遊びを限定するので遊具は設けないか？	
屋内遊びができる建物を設けるか？ あづまやなどの雨宿り施設とするか？	
ゲートボールもできる広場か？ ゲートボール場か？	神明公園の 代替は？